

令和6年度 スクールコンサート 渡辺知子一座 **生命が光る** ～決して決して決してあきらめない～

♪ 開催校 ♪

9/ 3(火)尾倉中学校・ 血倉小学校
響ホール合同開催
10/ 1(火)城野小学校 小学校体育館開催
11/13(水)高蔵小学校 小学校体育館開催
11/18(月)高見中学校 中学校体育館開催
12/ 3(火)筒井小学校 小学校体育館開催



音楽活動を通して生きるすばらしさや命の大切さを伝え続ける渡辺知子さん（以下知子さん）と渡辺知子一座のみなさんによるスクールコンサートは、今年で18年目を迎えます。

今年は、小学校3公演、中学校1公演、小中合同開催1公演を開催しました。例年のない猛暑で 予定していた日程を変更するなどあわただしい年となりましたが、5公演すべて無事に開催できました。

4年前から、小学校でもスクールコンサートを開催しています。

小学1年生から中学3年生までどの子どもも、みんな同じように反応してくれます。人数の多い学校から1学年1クラスという少人数の学校でも「子ども達の拍手によって会場全体の雰囲気は段々と和み、



心が繋がった！と感じました。」と知子さん。

感染症対策で一部リモートでコンサートの映像を教室に流すというやり方で実施した学校もありました。

「教室の子ども達にも、しっかり想いを受け取ってもらおう、アクションや目線に気を付けました。」と知子さんと一座のみなさんの熱い想いが伝わります。

プロミュージシャンの、橋本たかしさんとドラムの盛迫ひろしさん。全盲で両腕のない、レンコンさんこと永松玲子さん。福祉士の国家資格を持つ清水涼子さんと同じく福祉の道へ進んだ清水葉奈さん親子。エレクトーン講師として活動し知子さんのアシストもできる好中美佐江さん。繰り返し努力を重ね完成した音楽と手話を交えた歌で進みます。

毎回オープニングは『My friend 北九州』を歌います。そしてみんなで「北九州」の手話を学びます。

その次の曲『手話でごあいさつ』は手話を覚えることができる歌です。どの子どもも真剣そのもので知子さんの真似をして手話をしながら覚えます。

『この世界には、目の見えない人、耳の聞こえない人、自分の足で歩くことができない車いすの人もある。みんな一緒に生きている。一日一日が奇跡。夢は必ず叶う、でも、「なりたい」じゃだめ、「なる」と言ってごらん。』と、知子さんは子ども達へ伝えたい思いを熱く語り、どの学校でも最後まで、拍手、手拍子が途絶えることなく続きます。生演奏での心のこもったコンサートが子ども達の心に響いています。

このスクールコンサートを通して『生きている』ことへの感謝の気持ちがいっぱいになり、本年度もまた、沢山感動の声が届いています。



参加児童生徒の感想文から

すてきな演奏をありがとうございました。知子さんは、5年生の時つらい難病にかかったのに決して決してあきらめませんでした。また病気にかかったのにまたあきらめませんでした。知子さんは決してあきらめなかったから、「あきらめちゃダメ」とおばあちゃんが知子さんにきせきをあげました。あと、とてもすてきな演奏を本当にありがとうございました。知子さん、私も知子さんのようなキレイな演奏をします。知子さんが言ってくれたから決してあきらめてはいけないことがわかりました。

(小学校3年生)

私はいつも嬉しいことよりも辛かったり悲しかったりしたことの方が頭に残ってしまい、「何であんな事言われたんだろう」とか「なぜこんなに不幸なんだ」など考えてしまうと、涙が止まらなくなることがありました。誰かに相談して、励ましてもらっても気持ちが高ぶって八つ当たりをしてしまうこともありました。でも、自分の中で小さな目標を立ててみたことで小さな喜びも感じられるようになったという知子さんの映像や言葉を聞いて、私も悪いことばかりでなく、良かったこと、嬉しかったことを振り返ってみて「なんて自分は幸せなんだろう」「生きていて良かった」と素直に喜べるようになりたいと思いました。また、この世で生きていること、生まれてこられたことが何より幸せだということを心にとめて、私は幸せだと誇れるようになりたいです。

(中学校3年生)

今回のスクールコンサートは感動し、これから生きていく中で重要なことを学べたと思いました。「〇〇になりたいではなく、〇〇になると言う」と将来の夢に近づく」という知子さんの言葉がとても心に残りました。私は夢があるけど周りの人に言えてなくて自信がないです。でもこのコンサートを聞いて自分に逃げ道を与えてしまっていたのだと気づけました。また、障害があっても明るいレンコンさんは強いなと思いました。手を忘れてきたけどそれを忘れてしまうぐらいのすばらしい演奏や生き生きとした表情は私に元気と命の大切さを教えてくれました。その挑戦する強い心は本当に心を動かされました。ヒマワリの歌は私たちも自然と手が動き出すくらい、楽しく明るい一座のみなさんにヒマワリがとても合っていました。

(中学校3年生)

楽しい歌とせつない歌がありました。一人一人のえんそうが重なり合ったからこそ、一番の音色が出せると学びました。いろいろな苦勞をのりこえたからこそできた歌なんだろうなと思いました。目をつぶると心の中から聞こえてくる音がきれいになってとても印象深い音でした。中でも「きのう きょう あした」という歌に心がひかれました。手話を習って一生けん命人のためにすることに感動しました。一つの詩からあふれた思いの歌詞はとてもいいものでした。個性豊かなメンバーが集まってとても楽しく心が動かされるコンサートでした。(小学校5年生)

私はスクールコンサートを鑑賞して印象に残ったのは「いっしょにうたおう」です。理由はステージに立っている全員の一人一人に伝えたいことが、一番伝わってきたからです。あと「笑顔の君が好きなんて言わないで」という歌詞に心を打たれました。私が最近思った事と似ていた言葉だったからです。「ずっと笑顔でいてもつらいことや泣きたくなることはあるんだよ。無理して笑わなくてもいいよ。」というメッセージが込められているように感じました。スクールコンサートを通して、自分にどんなことがあってもあきらめなかったら少しは夢に近づけるということを教えてもらえました。(中学校1年生)

今日はすてきなコンサートをありがとうございました。夢をもつことでこんなに人は輝けると知ることができました。どの曲もすてきで心に響くような曲でとっても感動しました。「きのう きょう あした」を聞いた時、私も一日一日を大切に過ごそうとあらためて思うことができました。また、人は夢をもち、その夢に努力して向かっていき、その夢がかなった時一番輝いて見えるということを感じました。「決して決して決してあきらめない」このことは自分の夢への第一歩にもつながる考えだとも思いました。私は夢をあきらめず渡辺さんのように成功させ輝けるようにがんばりたいと思いました。(小学校6年生)

ありがとう
ございました！！

渡辺知子一座

